



イマジン  
ロータリー

# 会報

留萌ロータリークラブ会長目標

ロータリーの未来  
～ The Future of Rotary ～

2022 ▶ 2023 WEEKLY REPORT

会長 / 串橋 伸幸 幹事 / 青山 貴幸

## プログラム

- 本日  
来賓卓話「災害に備えて」  
留萌市役所危機対策室
- 次週予定  
「慶祝夜間例会」

【第24回・第25回 合併号】  
No. 2945 第24回 3月1日

### 出席報告

前例会

会員総数	27名
出免会員	6名
出免出席	6名
基準会員出席	27名
出席率	100%

例会 / 毎週水曜 12:15～13:15

## 🖋️ 会長報告 .....

1. 今年度の米山月間におきまして、辻本会員が米山功労者、西谷会員と私、串橋が第1回目のマルチプルを受賞しました。感謝状が届いておりますのでお渡しいたします。

- 本日の例会よろしくお願ひします。青山幹事
- 本日の例会、宜しくお願ひします。

武田エレクト

- 創立記念例会を楽しみにしています。よろしくお願ひします。 西原会員
- 創立記念例会楽しみましょう。 関野会員
- 皆様、創立記念例会楽しんで下さい。

大嶋親睦活動委員長

## 📁 幹事報告 .....

- ガバナー事務所より、ガバナーノミニーの推薦書類が届いております。

- ゲーム優勝ありがとうございます。山本会員
- おありがとうございます。 中出会員
- わーい。ありがとうございます。 桜元会員
- 運だけいただきます。ありがとうございます。 青山幹事

## 📺 ニコニコBOX .....

- 62回目の創立記念日です。本日はもっとロータリーを知って、ロータリー活動を楽しみましょう。 串橋会長

前 回	552,000円
今 回	37,000円
累 計	589,000円



プログラム.....

創立記念例会



## プログラム

- 本日  
「慶祝夜間例会」
- 次週予定

結婚記念日  
燕 美 雪

特別慶祝(銀婚式)  
燕 美 雪

【第24回・第25回 合併号】  
No. 2946 第25回 3月8日



前  
例  
会

会員総数……………27名  
出免会員……………6名  
出免出席……………6名  
基準会員出席……………16名  
出席率……………66.66%

例会／毎週水曜 12:15～13:15

## 会長報告 ……………

1. 昨日、青山会員のお母様がお逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。
2. 残念なお知らせがございます。入会間もない山形会員が2月24日に会社より内示があり、山形県に転勤する事になりました。冗談のようなお話ですが、本当のことで残念でなりません。後ほど、湯どうぶ会にて送別会を開催いたしますので、会員皆で送りたいと思います。よろしくお願ひします。
3. 田中会員がご自身初の著書となります「介護事業者のための児童デイサービスの始め方」を出版されました。ご興味のある方はアマゾンにてお買い上げください。
4. 2510地区よりトルコ・シリアにおける大震災の義援金のお願いが来ております。BOXを回させていただきますので、沢山の寄付をお願い致します。
5. 地区事務所より、新入会員セミナー開催のご案内が届いております。対象者は2019年7月1日以降の入会者で、4月22日～23日で参加費が15,000円となっております。参加希望者は私まで連絡下さい。
6. 2月17日第9回理事役員会を開催し、3月例会プログラム、慶祝夜間例会の計画書を承認致しました。会員増強委員会より提出された会員増強リストを承認、後日皆様に回します。

7. 第1回目の米山功労者として西谷会員に感謝状が届いております。お渡し致します。

## 委員会報告 ……………

**親睦活動委員会** 桜元 副委員長

次週は慶祝夜間例会となっております。青山会員と燕会員の銀婚式のお祝いです。青山会員はご不幸があり出席は出来ませんが、燕会員のお祝いは執り行いたいと思います。よろしくお願ひ致します。

## 3分間情報 ……………

2月6日にトルコとシリアを襲った壊滅的な地震がありました。ジェニファー・ジョーンズRI会長は、被災地と連絡を取りあって対応を開始し、被災地のガバナーが災害救援補助金を申請するよう、またロータリーによる支援を広げるために、現地での救援活動についての情報を提供するよう呼びかけました。

ロータリー財団管理委員会は、現時点から3月31日までにトルコ・シリア災害救援基金に寄せられたすべての寄付を、災害救援補助金を通じて今回の地震の被災者救援プロジェクトの支援に使用する事を決定しました。

(ロータリー災害救援補助金による支援の対象)  
災害の被害に遭った地区は、独自のプロジェクトを立ち上げたり、復旧活動を支援するため

に他の定評ある救援団体と協力したりするために、ロータリー災害支援補助金を活用する事が出来ます。補助金の資金は、水や食料、医薬品や衣服といった基本品目の提供のために使用する事が認められる。地区は、地元自治体や地元団体と密に協力し、補助金が地元の具体的なニーズに充てられるようにすべきです。

(災害救援補助金の申請資格)

ロータリー補助金の参加資格認定を得ている被災地は、最高25,000ドルまでを申請できます。

(災害救援基金に十分な蓄えがある場合)

補助金を活用した地区は、その成果を適切に報告すれば、次の補助金を申請できる可能性があります。



## ニコニコBOX .....

- 3月も皆様のご協力よろしく申し上げます。  
工藤主事・酒井主任、本日の卓話よろしくお願ひします。 申橋会長
- 酒井様・工藤様、本日はよろしくお願ひします。  
武田エレクト
- 先日、人生初の道外ゴルフ遠征(茨城)に行つて来ました。3日間で313発、十分満足です。  
伊藤会員
- 3月・4月の例会プログラムを担当させていただきます。不手際がありましたらお助け下さい。  
高橋会員
- 大変良い事がありました。 関野会員

前 回	589,000円
今 回	7,000円
累 計	596,000円



## プログラム .....

来賓卓話「災害に備えて」

留萌市役所危機対策室

工藤主事・酒井主任

本日、留萌ロータリークラブの例会にお招きいただき、ありがとうございます。防災意識を高めようという事で、約30分という短い時間ですがお付き合い下さい。さっそく“災害に備えて”というレジメを用意して来ましたので、そちらを見て下さい。プロジェクターの方に映しているものとお手元の資料は同じものですので、見やすい方をご覧ください。

本日お話する内容は、三つの事についてお話をさせていただきます。一つ目は近年、留萌市が被災した災害。二つ目が留萌市における防災対策。三つ目が防災備蓄品の紹介です。

それでは、一つ目の近年留萌市が被災した災害についてお話をさせていただきます。北海道胆振東部地震、2018年(平成30年)9月6日朝方午前3時7分に北海道胆振地方中東部を震源としたマグニチュード6.7、最大震度が震度階級でも最も高い震度7であり、北海道ではこの震度7の地震が観測されたのはこの時が初めてでした。皆さんの記憶に残っているのは、平成7年の阪神淡路大震災と平成16年の新潟県中越地震、平成23年の東日本大震災、平成28年の熊本地震、そして平成30年9月6日の北海道胆振東部地震と続きました。写真を見て頂きたいのですが、被災した厚真町の様子が写っています。震度7の地震ですので、耐震性のない建物は当然、耐震性があつたとしても崩れてしまう建物があり、更に土砂災害が発生した事により、厚真町だけで36名の方がお亡くなりになられています。札幌市では液状化現象が起きて、道路や建物が被害に遭っておりますが、この液状化現象は水分を含んだ土地が地震の振動によって個体から液体に変わる現象で、これにより地盤沈下が起こり、震源地から離れた札幌市でもこのような被害が起きました。また留萌市でどのような被害があつたかと言うと、震源地から200キロも離れていますが、留萌市でも震度4を観測し、



地震による大規模停電ブラックアウトが発生し、市内全域で停電・断水被害等が発生しました。停電は9月6日午前3時7分地震発生、午前3時24分ブラックアウト発生、復旧まで約40時間を要し、9月7日午後7時35分に市内全域復旧となりました。地震による直接被害等はなかったのですが、停電により信号機が停止し、警察官が出て交通誘導をする事になりました。留萌市では地震発生後、災害対策本部を設置し対応を検討。例えば給水所を設置したり、携帯電話の充電スポットを設けたり、自主避難所を開設、市民の皆さんに不便をかけないように支援を致しました。留萌市では地震発生直後から、コンビニエンスストアにたくさんの市民が押し寄せ、中央スーパーに設置された特設ブースにも長蛇の列ができ、改めて普段からの備蓄の重要性を認識する事になりました。

留萌市における防災対策として、災害情報伝達手段は、次のような手段を用いて市民の皆さんに災害情報をお伝え致します。①緊急告知防災ラジオ。この緊急告知防災ラジオというのは、災害時にラジオを聴取していない場合でも、自動で起動し、大音量で災害情報を伝達するラジオの事です。自動起動対象として緊急地震速報（震度5弱以上）、津波警報、弾道ミサイル攻撃、緊急避難情報などがあります。このラジオの配付対象は、津波浸水想定区域世帯、留萌川上・中流域世帯、75歳以上単身高齢者世帯、要支援者利用施設などです。②緊急割込み放送。これは災害時にエフエムもえるのラジオ放送に緊急で割込み、市職員が災害情報や避難情報を伝えるものです。留萌市では毎月末の水曜日にラジオ番組中に割り込み、緊急割込み放送訓練を行っております。③各種防災アプリ。ヤフー防災速報。ヤフーの会社が提供するアプリで、警報発令などの気象情報や避難情報が音や振動と共に自動的にスマホ画面に表示されます。また、一般社団法人日本コミュニティ放送協会が提供するアプリで各種災害情報の他、地域に密着した情報が自動的にスマホ画面に表示されるレディモ。北電ネットワークが提供するラインサービスで、あらかじめ登録した地域から停電



が発生した場合に、停電情報がラインを通じて通知してくれるサービスなどがあります。④留萌市では災害時にホームページにて災害情報や気象情報、避難所情報などを発信します。その他、掲載内容は河川道路状況や公共機関運休情報なども掲載されています。検索は「留萌市災害情報」で検索下さい。⑤その他の情報伝達手段。留萌市ではその他として、消防サイレンや広報車、テレビ、エリアメールなどでも発信しています。災害時は市から発せられる情報を待つのではなく、自ら情報収集する事も大変重要です。

留萌市では自主防災組織への助成制度があり、自主防災組織運営助成金や自主防災組織活動助成金なども用意しております。各種防災訓練の実施も行っており、南町・緑が丘町地区にお住いの方を対象に土砂災害防災訓練を実施したり、宿泊型避難所解説運営訓練も行っております。留萌市では大規模災害時に皆様の生命・身体・財産を守るため、様々な防災計画を策定し、計画に基づく施策の推進により、災害に備えています。防災備蓄計画では、被災者の避難生活に必要な物資の備蓄・調達等について定めたものであり、最大被災者想定を4800人としています。

ここで留萌市に於ける防災備蓄品について紹介致します。非常食としてアルファ化米を備蓄しており、アルファ米とは一度炊いたり蒸したりした米を熱風で急速乾燥させたもので、災害時の非常用食料として提供する長期保存可能かつ、料理が簡単である事が特徴です。このアルファ化米は、五目・わかめ・きのこなど消費期

## 第24回 3月1日(水) 天候/曇

限5年の物を4,150食分(令和5年2月末)を防災備蓄倉庫に保管しております。また、非常用飲料として保存水、製造時に超高温加熱殺菌したもので、災害時の非常用飲料として提供いたします。長期保存可能かつ軟水のため、誰にでも飲みやすいのが特徴です。これも防災備蓄倉庫に3,660本備蓄されております。また、主に停電発生時の避難所において避難会場を照らすために使用する円柱型LEDスタンドライトを48台保有し、避難所を温める電気を必要しない移動式ポータブル石油ストーブも43台、防災備蓄倉庫に保管しています。その他、停電・断水時に避難所において簡易トイレが必要とされますが、自動ラップ式トイレも6台保有されています。災害時の避難所においては、床にブルーシートを引いて居住・就寝しておりましたが、

直接地面に寝ると体を痛める事が多いので、ダンボールベットも140台備蓄されております。

各家庭においても防災対策が求められますが、日頃から多めに食料品を買っておいて、食料品を備蓄しておくのが簡単な方法です。また、可能であればカセットコンロやガスボンベ、懐中電灯、冬などの暖をとるポータブルストーブ、毛布なども用意しておくのも良いかと思います。

以上、留萌市に於ける災害の備えてとして、防災対策を主にお話をさせて頂きました。会場の後ろに防災グッズをお持ち致しましたので、例会終了後、見学して頂ければと思います。

本日はこのようなお時間を頂き、ありがとうございました。

